



仙台市復興5年計画最終年度の第二回定例会終了。現在の問題と未来の課題に、今後も鋭意取り組んで参ります。

震災復興

被災者の生活再建を力強くサポート、数多くの支援策を訴え続ける

提言
反映

- ◎被災者独自支援策拡充(市内で津波浸水した場合の、建て替え・修繕に対する補助金交付等)
- ◎被災者向け医療費減免制度再開
- ◎住宅再建のための二重ローンの解消を目的とした親孝行ローン
- ◎復興公営住宅の増設・家賃の低廉化
- ※さらなる生活再建支援プログラムによる、ひとり一人の事情に応じた親身で丁寧な支援が求められます。



(平成23年9月23日 第三回定例会一般質問 以降、平成27年6月19日 第二回定例会一般質問まで、すべての議会において質疑提言)

提言
反映

震災の記憶と教訓を次の世代へ

震災の経験を未来へ語り継ぐためのメモリアル施設(震災遺構)として、元住民らの意向調査を踏まえ、荒浜小学校の保存が正式に決定しました。

(平成23年12月9日 第四回定例会一般質問 他にて提言)

危機管理

地域防災計画を見直し、国の基準に依らない原発事故対策も追加

提言
反映

- ◎避難所運営、企業や関係機関との連携など、実経験に基づく防災を多数提言し、市の新しい防災施策等に反映
- ◎市独自の地域防災計画・原子力災害対策編を提案・新設
- ◎新たな津波防災システムを整備
- ◎危機管理組織を拡大充実
- ※今後は、訓練とその検証で実効性の向上を図ることが重要です。



(平成24年4月25日/東日本大震災復興会議 他にて、たびたび質疑提言)

継続中!

- ◆既存市道、ほ場整備と接続した津波避難道路等の早期整備
- ◆防災条例の制定、等

(平成25年2月25日 第一回定例会一般質問 他にて、質疑提言)



まちづくり

これからも市民目線に立ったバス路線に

提言
反映

高齢者の生活・通院や区役所等へのアクセスのための路線存続、朝夕時間帯に応じたダイヤ編成など、市民の生活実態に合わせた市バス路線再編案の段階的見直しを実現しました。

※地下鉄東西線開業(27年12月6日)にあわせ、バス路線が変わります。

(平成26年2月21日 第一回定例会一般質問、同4月21日 都市整備建設委員会 他において、再三にわたり質疑提言)



継続中!

- ◆7月オープンの水族館や、社会教育施設(科学館・天文台・動物園)等の情報・サービスの連携と回遊形成による、地下鉄の利用促進



- ◆IC乗車カード『イクス力』の拡張性を活用した、利便性を高める提案(一部実現!)を続行

(平成25年6月18日 第二回定例会一般質問 他にて、質疑提言)

仙台市組織改編、新しい都市経営を担う“まちづくり政策局”を新設

中長期的かつ組織横断的な戦略的政策形成を目指す『まちづくり政策局』が26年4月から始動しました。地方創生も、担当します。

(平成25年7月26日 東西線整備・まちづくり促進調査特別委員会 他にて、質疑提言)

提言
反映

継続中!

- ◆復興を見据えた、市民センター、各種スポーツ施設(内陸部への野球場施設等)の適正な配置、整備
- ◆津波避難と、防災移転、地下鉄開業に伴う街区等の変化をふまえた安全確保と渋滞解消

(平成27年2月24日 予算等審査特別委員会 他にて、質疑提言)



教育

震災後における、教育環境の 早期整備と充実に尽力

被災校の早期再建と教育環境の復旧・改善、児童・保護者の心情に配慮した慎重な学校統合のほか、安全のための放射性測定器の配置や学校防災教育などを提言してきました。今後、教育支援組織である「学校支援地域本部」は市内全域に拡充されます。

(平成25年10月1日 決算等審査特別委員会 他に、質疑提言)

提言
反映



継続中!

◆ 子どもたちの安全や健全育成を支える、
家庭・地域・小中連携の充実

◆ 不登校等への支援、児童生徒増加地区
における小中学校の新築・増築

(平成25年3月8日 予算等審査特別委員会
他に、質疑提言)



経済・産業振興

ユニークな独自案で、仙台市が “地方創生特区”指定を獲得

規制改革等を通じて起業を推進し、新たな経済成長モデルの構築を目指す『ソーシャルイノベーション創生特区』として、仙台市が国の地方創生特区指定(国家戦略特区の二次指定)を受けることが決定しました。

(平成25年9月12日 第三回定例会一般質問 他に、質疑提言)

穀倉地帯の維持・食の確保は、 国土の保全・命のまもり

農業排水施設の回復・増強と、良質な客土と土質改良、適宜の営農支援など、復旧への取り組みを関係諸団体と推進してきました。また4月からは、本市小中学校の給食に地場農産物の積極的な使用が開始されています。

(平成24年6月15日 第二回定例会一般質問 他、たびたび質疑提言)



継続中!

◆ 地域の声を反映した農業振興と市民交流に向けた拠点施設としての、農業園芸センターの整備推進

◆ ほ場整備での生産性向上による農産品目の拡大

(平成23年12月9日 第四回定例会一般質問 以降、その都度質疑提言)

福祉

被災者への十分な心のケアと、 福祉施設設備の充実に重点的に

- ◎ 被災福祉施設の内陸部移転への支援
- ◎ 震災PTSDへの心のケア、巡回訪問
- ◎ 要援護者、高齢者への見守りシステム(ソフト・ハード)の整備・充実 など

(平成24年12月12日 第四回定例会一般質問 他に、質疑提言)

提言
反映



継続中!

◆ 高齢化社会、障害者支援に配慮した細やかな施設整備や制度等の更なる充実

(平成26年6月19日 第二回定例会一般質問 他に、質疑提言)



継続中!

◆ 国家戦略特区活用による新エネルギー開発(風力、藻類バイオマス、水素等)と全国のモデルになる運用

(平成25年9月12日 第三回定例会一般質問 他に、質疑提言)



地域経済の活性化に向けて

◆ 仙台経済の新たな成長に向けた戦略「仙台経済成長デザイン(26年2月策定)」に続き、27年4月、「**仙台市中小企業活性化条例**」が制定されました。

30億円の基金を設置し、販路拡大、人材育成、資金調達の円滑化、受注機会の増大等を期して、経営者・学識者らによる実態調査や検討を踏まえ、数年にわたり逐次事業化。

国の交付金事業による2割増し「社の都プレミアム商品券(一人あたり3万円まで/40万セット限定)」などとも併せ、仙台市・国ともに地域経済活性化のための二の矢、三の矢の取り組みを加速します。

今後の、その他の取り組み

- 観光交流人口の増加による経済波及効果の促進(地下鉄沿線開発、バス等の活用、音楽堂の建設、仙台北の復元、など)
- 六次産業・地産地消の推進と、農産物の首都圏・海外への販路拡大
- 認定こども園をはじめとする、さらなる幼児教育の充実への取り組み
- 東北各市町村との広域連携による、地方創生施策などの推進
- 集中豪雨に備える、総合的雨水・排水コントロールシステムの研究開発
- 議会・行政改革 など

